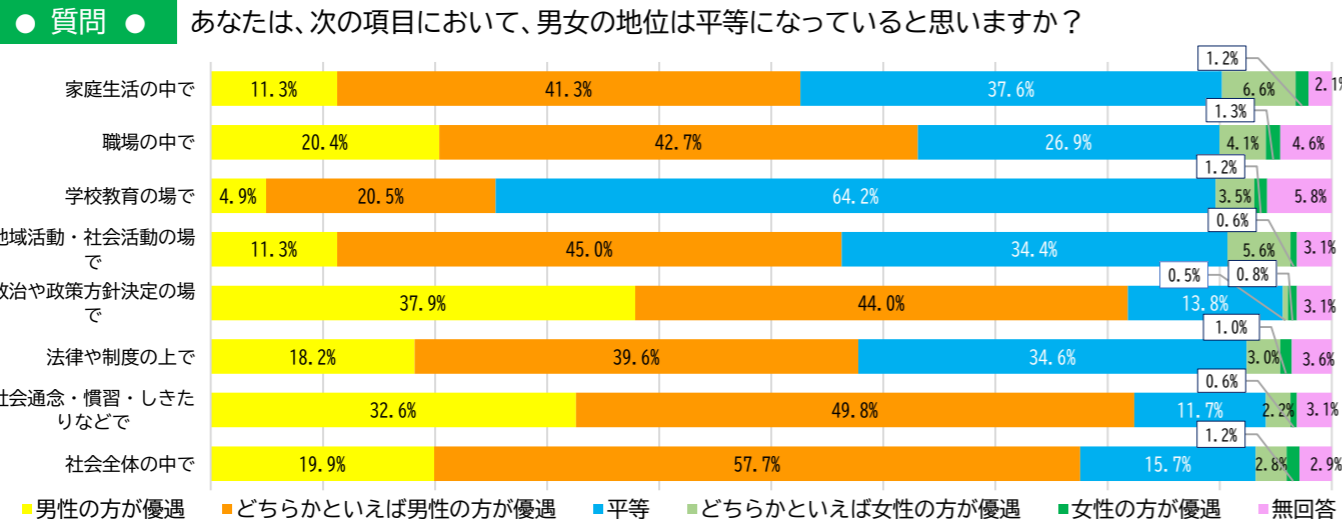
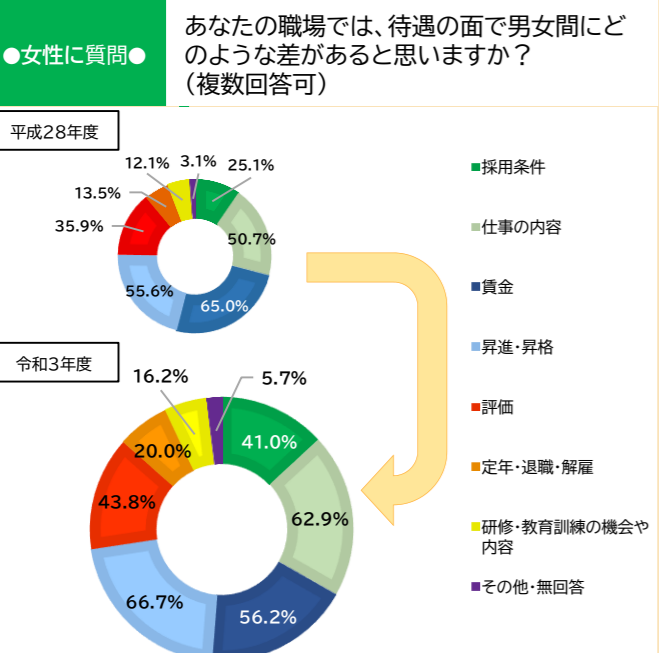


男女平等・男女共同参画に関する意識 (※4)



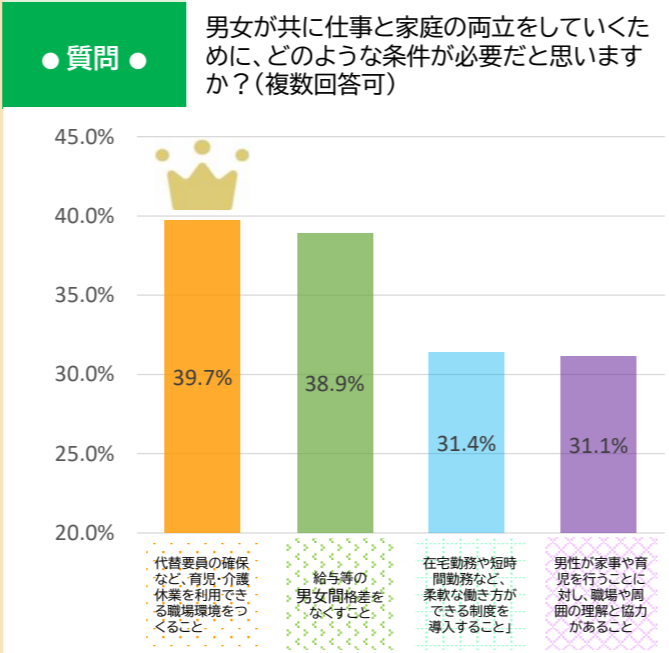
全体で「平等になっている」との答えが最も多かったのは、「学校教育の場」で64.2%、次いで「家庭生活の中」が37.6%となっています。一方で「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」の合計を比較すると、「社会通念・慣習・しきたりなど(82.4%)」、「政治や政策方針決定の場(81.9%)」、「社会全体の中(77.6%)」、「職場の中(63.1%)」など、様々な場において男性の方が優遇されていると感じる人の割合が高くなっています。

女性の就業・仕事について(※4)



令和3年度調査において、職場での男女間の待遇格差が「ある」と回答した女性のうち、最も格差を感じていることは「昇進・昇格」の66.7%、次いで「仕事の内容」が62.9%でした。平成28年度調査結果と比較すると、最も多く回答があった「賃金」に関する格差は減少しています。

仕事と家庭の両立支援(※4)



仕事と家庭の両立のために必要な条件のうち、「代替要員の確保など、育児・介護休業を利用できる職場環境をつくること」が最も多く39.7%でした。次いで多いのが「給与等の男女間格差をなくすこと」が多く38.9%でした。安心して出産・育児に臨める体制づくりや、性別による格差が課題となっています。

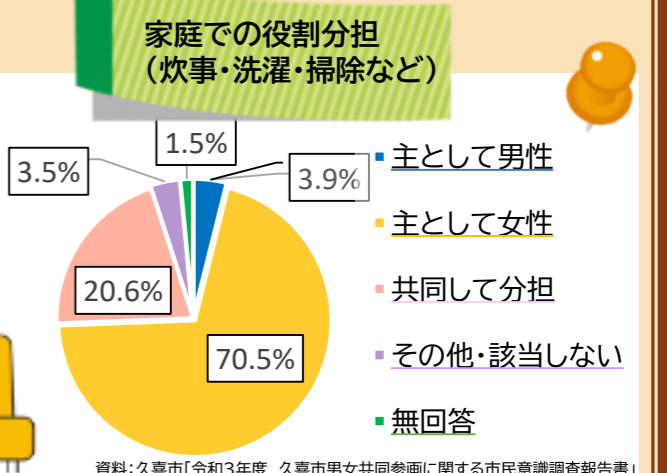
久喜市男女共同参画ミニ白書 (令和6年度発行)

男女がいきいきと活躍できる社会の実現
～誰もが尊重され、認め合える社会へ～

久喜市では、平成22年9月30日に「久喜市男女共同参画を推進する条例」を制定し、性別にかかわらず、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しています。久喜市男女共同参画ミニ白書は、久喜市の男女共同参画に関する現状を総括的に把握するために、多角的な視点から男女共同参画の現状をまとめたものです。

家庭では…

家族みんなで、家事・子育て・介護などを行い、ゆとりある生活を送ることができる社会

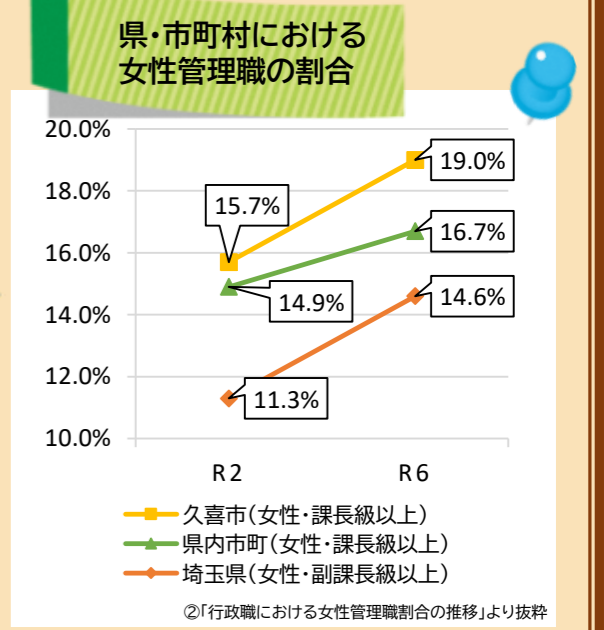


職場では…

仕事と家庭を両立する職場環境が整い、男女問わず能力を発揮できる社会

地域では…

性別や年齢にかかわらず、主体的に地域に参画し、子育てや介護などを地域全体で支えることができる社会



◆問い合わせ先◆
久喜市総務部人権推進課
〒346-8501 久喜市下早見85-3
TEL:0480-22-1111(内線2322・2325) FAX:0480-22-3319
E-mail:jinken@city.kuki.lg.jp



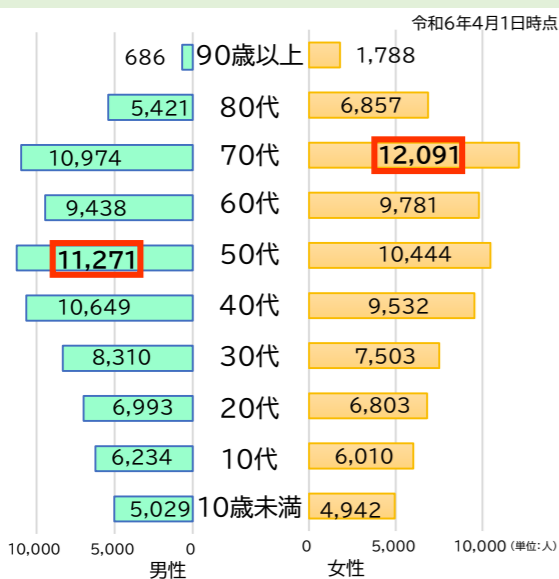
久喜市では、性別に関わりなく一人ひとりの人権が尊重され、多様性を認め合い、自分らしく生きることのできる社会の実現をめざし、「久喜市パートナーシップ宣誓制度・ファミリーシップ制度」を開始しています。



久喜市の現状

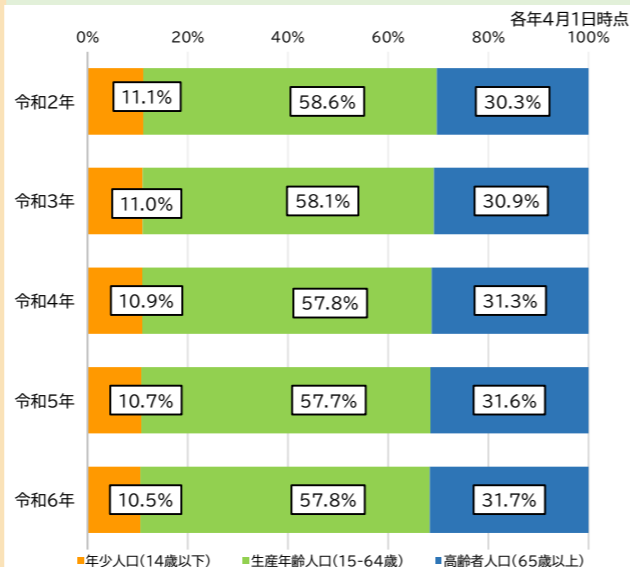


男女別年代別人口(※1)



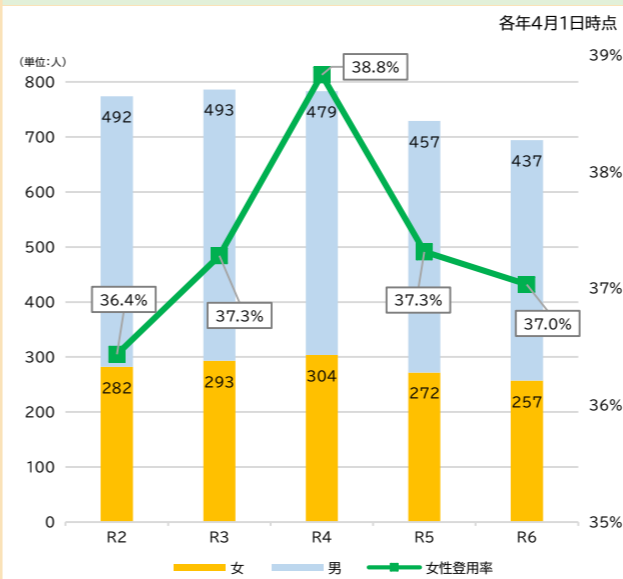
令和6年4月1日時点の久喜市の人口は、150,756人(前年比+16人)です。
年代別の分布では、**男性は50代が最多**で、次いで70代が多く、**女性は70代が最多**で、次いで50代が多くなっています。
久喜市の高齢化率は31.68%となっており、男女ともに50代以上の割合が増加しています。

年齢区分別人口比率の推移(※1)



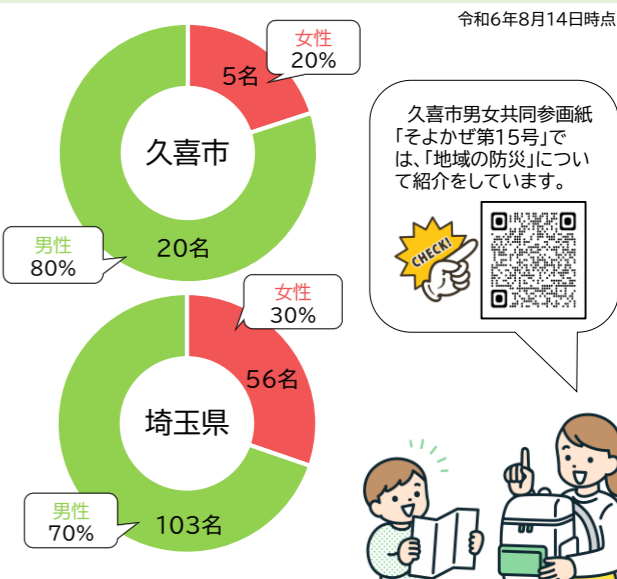
過去5年間の推移をみると、**年少人口(0~14歳)**及び**生産年齢人口(15~64歳)**は年々減少し続けており、反対に、**高齢者人口**は年々増加しています。

審議会等の女性登用率



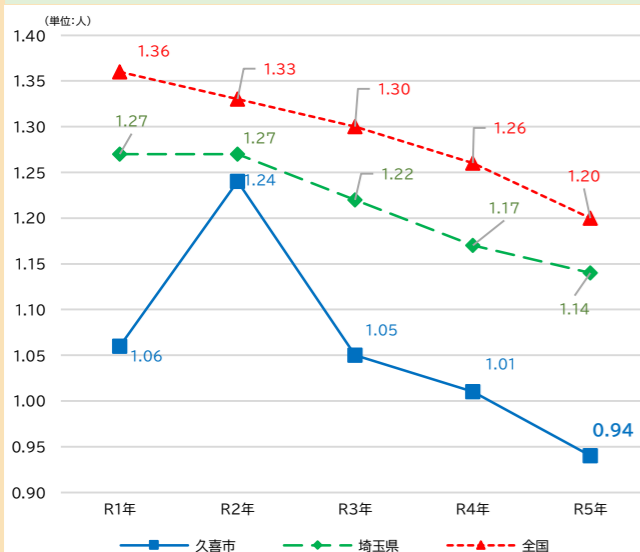
久喜市の審議会等における女性登用率は**37.0%**前後を推移しています。
久喜市の女性登用率は県内でも高く、日高市の41.9%に次いで2番目に高い数値となっています(※3)が、「第3次久喜市男女共同参画行動計画」で定める令和9年度までの目標数値(50%)までは10ポイント以上の乖離があります。

久喜市自主防災組織リーダー養成指導員の推移



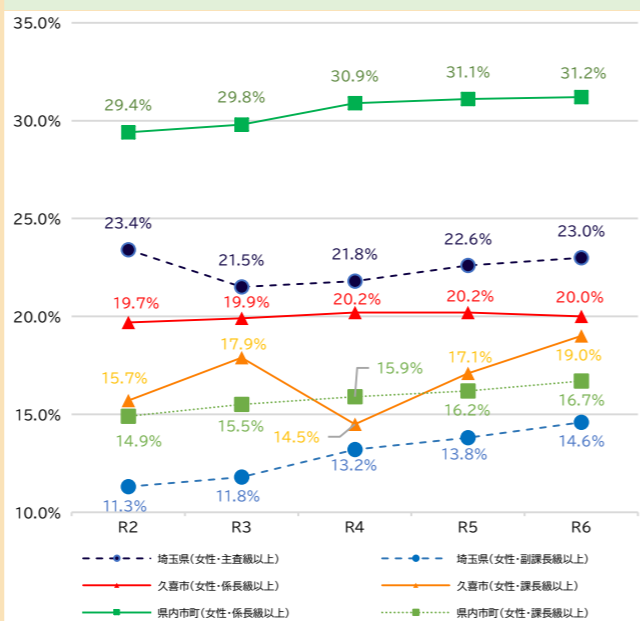
●自主防災組織リーダー養成指導員とは●
地域の自主防災組織や防災リーダーを育成するため、県が実施する講習会で認定を受け、各地で防災に関する啓発活動を行う方です。
久喜市内では25名の方が認定を受けており、そのうちの**5名は女性**です。

合計特殊出生率(※2)



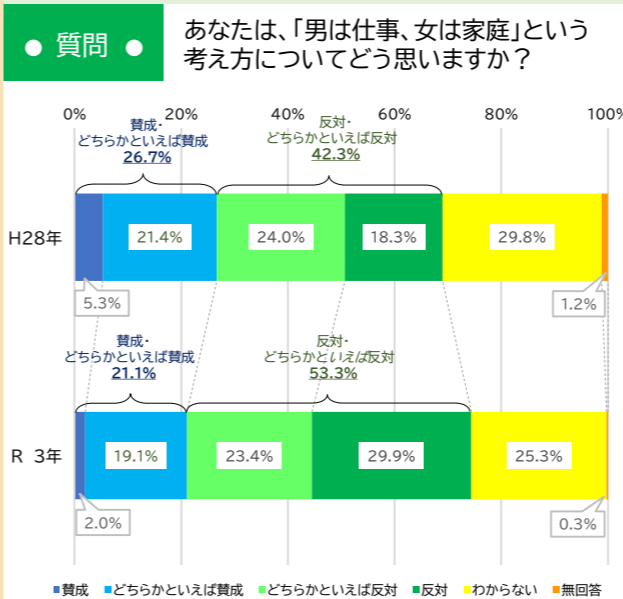
●合計特殊出生率とは●
一人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数のことを言います。
久喜市では令和2年以降、急激に減少しており、令和5年には**0.94人**となりました。
全国的にも減少傾向がありますが、久喜市は埼玉県・全国と比べても大きく減少していることが分かります。

行政職における女性管理職割合の推移(※3)



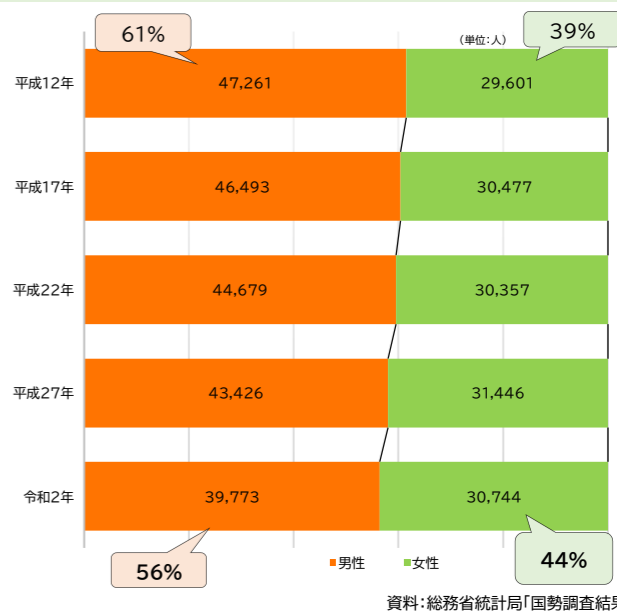
令和6年4月1日時点の久喜市の「**女性・係長級以上**」の割合は**20.0%**で、ほぼ横ばいとなっています。また、「**女性・課長級以上**」の割合は**19.0%**となり、前年より1.9ポイント増加しています。

固定的性別役割分担意識の推移(※4)



「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識について、「**反対・どちらかといえば反対**」という意見は平成28年では**42.3%**だったのに対し、令和3年度では**53.3%**になり、半数以上の方が反対という意見となっています。
男女が互いに尊重され、個人の能力によって役割分担を決めることが適当だという意見が増えてきているようです。

久喜市の男女別就業者数の推移



久喜市の男女別就業者数の推移を見ると、平成12年に比べ、女性の就業者数が増加(+1,143人)し、男性の就業者数は減少(▲7,488人)しています。
それに伴い、男女比も平成12年の**男性61%・女性39%**から、令和2年には**男性56%・女性44%**となり、全体の就業者数における女性の割合が増加していることが伺えます。

※1 資料:久喜市「年齢別住民基本台帳人口」

※2 資料:埼玉県「埼玉県の合計特殊出生率」

※3 資料:埼玉県「男女共同参画に関する年次報告書」

※4 資料:久喜市「令和3年度 久喜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書」